

Fitness Industry Association

発行: 一般社団法人日本フィットネス産業協会
 TEL.03-5207-6107
 FAX.03-5207-6108
 E-mail. ftys@fia.or.jp
 http://www.fia.or.jp

NEWS

編集: (株)クラブビジネスジャパン
 フィットネスビジネス編集部
 TEL:03-5459-2841
 FAX.03-3770-8744
 E-mail.info@fitnessclub.jp
 http://www.fitnessclub.jp

Topics

トピックス

11月21(水)~23日(木)の3日間にわたり、東京ビッグサイトにて、SPORTEC2012が開催されました。

そこで開催された、いくつかのセミナー内容を今号より順次掲載する。今回は、実際に病院にて身体にリスクのある高齢者の運動指導に携わるトータルフィット株式会社 梅田陽子氏が指導におけるポイントや注意点を挙げたセミナーをご紹介します。

安全にできていますか？ 循環器疾患をもつ人の運動指導

トータルフィット株式会社 代表取締役
 京都大学医学部付属病院 健康運動指導士 梅田陽子氏

私たちが人々を健康にするためには、目の前にあることをただやみくもに行うのではなく、まずは国がどういう方向に動こうとしているのかを理解することが大切だと思います。

そこで、まず最初に、「健康日本21」という施策についてご説明したいと思います。これは厚生労働省が定め、来年から始まる「国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向や、国民の健康の増進の目標に関する事項」などを定めたものです。この「健康日本21」は、大体10年おきに内容が更新されていますが、現在のものは12年間も続いています。このなかで、皆さまもご存じの通り、歩くことの必要性が提唱されており、高齢者を含む一般の方にも広く認識されるようになりました。しかし、国民の1日の平均歩数は年々減少傾向にあり、現在では女性が約6,000歩、男性が約7,000歩です。これは全国平均であり、地方ではもっと少ないと思われます。ですから、これからは「歩数をもっと増やしていく」ことも目標として掲げています。そして、そのために必要なこととして、運動指導士を増やすなど、健康産業の活性化に取り組んでいこうとしています。また、歩くことによりロコモティブシンドロームやメタボリックシンドローム、低体力などの改善を図り、循環器疾患を低減させることも目標として掲げられています。

ご存じの通り、国民の医療費は年々増え続けています。なか

でも循環器疾患が2割を占め、そのうち3/4が65歳以上の方に使われていますから、高齢者の循環器疾患に費やされる医療費は国の財政を逼迫させており、ここにいかにも有効な対策を講じるかが、医療費削減の成否を左右します。

指導法に悩む指導員増える、高齢化社会

先日、私は特定保険指導の実務者研修会を行いました。そこでご参加者から「肥満や高血圧、心疾患など、身体にリスクのある方への運動指導をどのようにしたらよいのか」と質問を受けました。保健師の方ですからリスク自体は理解していますが、運動指導についてはよくわからない方もおられ、フィットネスクラブで働いている方のなかにも、リスクを持った方への指導についてとても不安を感じる方も増えてきているようです。

さらに、脳疾患や心疾患をお持ちの方のリハビリテーションでは、保険適用期間は150~180日という期限があるため、充分なリハビリテーションを受けられない方もおられます。それを防ぐためにも、国としては、リスクを持った方への運動指導ができる環境をさらに活性化させようとしています。

病院でも、心不全を起こして入院しても、少しよくなったら退院し、再び悪化して入院するということを繰り返す方が多いですね。ですから、在宅ケアにおける指導方法についてもきちんと整備することが大事です。現在は、残念ながら「身体にリスクのある方に対して運動施設をつくりたい」といったところで、十分な法整備がされておらず、国の政策も予算もほとんどない状態です。

“高血圧”の原因はさまざま

私が現在運動指導をしているお客さまは、ドクターから「運動してもいいですよ。ただ、無理はしないでくださいね」という許可が出た方たちです。しかし、このあいまいさが指導においては恐いのです。先ほど、ご参加の皆さまから聞いたお話によると、お客さまのなかで病院にはかかっていない高血圧

気味の方が、運動の合間に気が付いたら救急に運ばれていた、という経験をした方がおられました。また、次のようなことは多くの皆さまが経験したことがあるのではないのでしょうか。

施設にご高齢の方が来館され、運動前に血圧を測ったら160/95という高い値がでたにもかかわらず、その方が「薬を飲んでいるから大丈夫なので、せっかく来たんだから運動させてほしい。家では低かったから問題ないはず」などと言ったとします。これについて、ある研修会でご参加者に「こういう方がおられたときはどうしますか？」と聞いたところ、ほとんどの方が「かわいそうだから運動させてあげたい」との回答が返ってきました。

一般的に、高齢者の運動教室は朝方やお昼に設定されていることが多いと思います。血圧は朝に上がりはじめ、活動を始めればさらに上がっていくものです。寒さも影響しますから、冬場の午前中であればそのような理由から血圧が高くなる可能性もあります。

また、私のお客さまで、糖尿病により血圧が高いにもかかわらず降圧剤を服用していない方がいました。ドクターによると、この方は白衣性高血圧の方だったのですね。「これから血圧を測ります」といわれると、緊張により血圧が上がってしまうタイプなのだそうです。

そもそも、運動をしようと思って来館される方は、文化教室などとは違って「がんばろう！」と気合いを入れて来館されるわけですから、ある意味血圧が高くなるのは当然です。先ほどの白衣性高血圧の方は、運動の直前に来館されることが多かったため、まずは30分早めに来ていただくようにし、なげない日常会話をすることから始めたところ、血圧が落ち着くようになりました。

このように、高血圧の原因はさまざまです。また、血圧以外にも、食後すぐの運動や空腹での運動は避けることにも注意を促しましょう。

さて、先ほどの血圧が160/95の方の話に戻りますが、まず測り直しの対象であることは確実です。「家では、一般的に理想的な数値の上限である135/85の範囲内だった」と言われたとしても、この数値では運動を許可することはできません。私が病院で指導する際には、そのような方がいた場合はまずドクターに連絡し、許可を得たうえで対応しています。もしドクターからの許可がおりなければ、残念ですが座って見てもらうか、様子を見て帰ってもらうようにしています。ここで、もし「せっかく来てくれたんだから」という感情からお客さまに運動をさせてしまったら、思わぬ事態を引き起こしてしまう可能性があるからです。

血圧以外の注意点では、睡眠不足・欠食・飲酒・薬物の変更などがあります。睡眠不足は自律神経バランスが悪くなり、血圧にも影響を与えます。また、薬についても、きちんと服用していない方で突然血圧が上がることも多く、要注意です。



トータルフィット株式会社 梅田陽子氏

運動指導において注意すべきポイント

運動で急激な血圧・心拍の上昇または下降が繰り返されると循環器系に負担がかかります。ですから、ご高齢の方や心疾患をもっている方には、血圧・心拍がなめらかに上昇・下降するような運動指導が最適なのですが、ここが難しいところでもあります。この部分について具体的にご説明しましょう。

例えば運動指導において、ご高齢の方に「肩を上下させてください」と指示したとします。すると、多くの方が下げるときに勢いよくドンッとおろします。こうした動作においては、息が止まりやすい傾向があります。ここで重要なのは、ご高齢の方の運動に対する考え方への理解です。ご高齢の方が学生時代に習い、馴染みがあるのは“体育”です。ひと昔前の“体育”は、現代のそれとは違い、統制を重視します。ですので、昔の“体育”で育った高齢の方はきっちりとした力の入った固い動作を行うことが身体に染み付いており、これにより無意識のうちに力んで呼吸をつい止めてしまいがちになります。そのため、まずは次のように言って、呼吸を止めないよう誘導してあげましょう。「ゆっくり肩を上げて、そーっとおろしましょう。そのとき呼吸はどうなっていますか？ いつ吸って、いつ吐いていますか？ 身体の動きと呼吸は連動していますから、自然な呼吸を心がけて動き続けましょう」。つい私たちは動き方ばかりを伝えてしまいがちですが、このように呼吸の大切さにも気づいてもらえるよう、丁寧に説明してさしあげることが大切です。

また、血圧・心拍の上昇を招く「頭を急に上下させる」動きにも要注意です。例えば、ハムストリングスのストレッチでは、足を前に出して、身体をやや前傾させますね。この動きをご高齢の方が真似すると、まるでおじぎするように頭を下げてしまいます。これでは脳や心臓に負担がかかってしまうだけで、肝心のハムストリングスはあまり伸びていません。ここでも、ただ動き方を説明するだけでなく、動きの“目的”が何かをきちんと教えてさしあげることが大切です。

私の場合は、まずお客さまに「私が頭をどこまで下げたら

顔が真っ赤になると思いませんか？」と尋ねます。続けて「そもそもなぜ顔が真っ赤になるのでしょうか？」と聞くと、お客さまは「血圧が上がるから」と答えます。そこで「そうですね。では、血圧があまり上がらないように、自分の顔が真っ赤にならないところで」とお伝えすると、間違いありません。特に男性の場合は動き方を伝えるだけでは「お遊戯じゃないんだから」などと気を悪くする方もおられますから、きちんとその動きを行う理由、目的を伝えてさしあげることで、納得してくれるというメリットもあります。

次に、長時間、腕の挙上を続けないことも大切です。腕を挙げ続ける動きは血圧を押し上げやすくするだけでなく、肩の筋肉をも拘縮させます。高齢者の肩は可動域が狭くなっているため、一般的に肩を動かす動作では、血圧や心拍数が上がりやすいのです。運動指導の際に、安易に肩回しを行う方がいますが、ご高齢の方にとってはとても苦しいことです。まずは肩の可動域を拡げてから行うこと、要するに動きにくい筋肉からは始めないようにしましょう。私の場合は、一番動かしやすい下肢から足首の底背屈などで動きは始めるようにしています。また、同じ筋肉ばかりに集中せず、上肢下肢の動きを交互に繰り返すとよいと思います。

ちなみに、私たちはご高齢の方が運動をどの程度「きつい」と感じているかを知るための指標として、「自覚的運動強度」を目安にします。これについてはネットなどでもたくさん紹介されていますので、一度ご覧になられるといいと思います。しかし、ときどきご高齢の方で、本当は結構きついと感じながらも「それほどでもない」と答える方もいれば、本当に自分ではどの程度の強度なのかよくわからない方もいらっしゃいますので、とにかくあまり無理をせず、楽に運動を10～30分続けられているかを、きちんと見てさしあげましょう。

有酸素運動における運動強度については、「6分間にどれぐらい歩くことができるか」という調査結果によると、やはり循環器疾患をもっている方は私たち一般の人よりもかなり低くなっています。

また、運動中に少しふらついているにもかかわらず、そのような自覚がない方もいます。そこで、私は一人ひとりにきちんと目が行き届くよう、お客さま同士でグループをつくってもらいます。多くても1グループ3～4名、できればペアが理想です。そこでお互いに会話をしてもらい、相手または自分の異常に対する“気づき”を高めるように心がけています。そうしたコミュニケーションのなかから、運動強度なども聞きだしています。

私の今までの経験で一番恐かったことは、運動中に薬を飲みだした方がいたことです。その方は、最初から自分では「少し体調がおかしいな」と感じていたのでしょう。しかし、私に正直に伝えたら、すぐに運動を止められると思って言えなかったようです。結果的に無理をさせてしまうような状況をつくってしまったことを反省しました。

このように、お客さまの体調がもし万全でなくとも、単に「運



実際の動きを身ぶり手ぶりを交えて紹介する梅田氏

動をしたらいけません」と結論づけるのではなく、ドクターに相談して、別の方法で運動を継続する方法はないかを見つめる努力をしましょう。

さらに、降圧薬や睡眠薬を使用している場合や、自律神経系の疾患を抑えるための投薬処方をしている場合は、起立性低血圧になる可能性が高いということも覚えておきましょう。私も整理運動が終わった後に、お客さまから「先生、しんどい」と言われることがあります。運動中は血圧が上がりますが、終了後は交換神経から副交感神経の活性に切り替わるため、徐々に血圧は下がっていきます。薬を服用していれば、その効果もあいまって血圧が急激に下がってしまうこともあるのです。そのため、「目を閉じて深呼吸をしてください。はい、ではレッスン終了です」というクラブで行う一般的なクールダウンは、たいへん危険です。お客さまはこれから歩いて家に帰るわけですから、その準備として下肢を動かしたり、トントンと叩くなどの静脈環流を促す運動を少し入れてから帰っていただきましょう。

糖尿病の方の低血糖にも注意が必要です。施設では普通であっても、家に帰ってから具合が悪くなる方もいますから、そのような方(特に初めての方)には、急に運動量を増やしたりしないように心がけましょう。

最後に

来館されたご高齢の方のなかには、心臓などは特に悪くないという、いたって健康そうな方ももちろんおられるでしょう。しかし、運動前には必ずすべての方にメディカルチェックを受けていただき、「どんな薬を飲んでいるか」などを必ず把握しましょう。咳などについても、呼吸器系の疾患であったり、心疾患の悪化が原因の場合がありますので、単なる風邪と見過ごさないことが大切です。

一般的に中～高齢者では多くの方が血圧または血栓予防など、何らかの薬を飲んでいるそうです。ですから、「何かしらの疾患はお持ちである」、多くの方は「高血圧の可能性がある」という認識で対応していくことが大切です。

血圧は必ず毎回、運動前・後に測り、少しの変化も見逃さないようにしていきましょう。

Information

お知らせ

■SPORTEC2012開催(特別協力催事)

SPORTEC2012は11月21日(水)～23日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されました。本年は展示会出展230社、セミナー講座数138の催しに3日間で31,155名の参加者を得て盛会のうちに終了しました。FIAはセミナー5講座を提供し230名の受講者がありました。ご協力いただいた各社・各クラブの皆さまに改めてお礼申し上げます。

■フィットネスホットライン(FHL)2012(主催催事)

FHL2012は11月23日(金)～25日(日)の3日間、大阪「なみはやドーム」で開催されました。45講座の指導者向けセッション・セミナーがあり、1,100名の参加がありました。講師や運営にスタッフを出していただいた各クラブの皆さま、ご参加いただいた皆さまにお礼申し上げます。

■ノロウイルス感染の注意報発令中

すでに新聞などの報道を通し、ご存知のことと存じますが、先月末に厚生労働省より、ノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎の患者が増えるとして、各都道府県などに注意の呼びかけが寄せられました。今年、2006年の大流行に次ぐペースで増加し、冬場に本格的な流行を迎えるとのこと。当協会にご登録いただいている施設さま並びに賛助会員各社さまにおかれましては、内部感染を防ぐべく、早い段階から準備を整えられることをお勧めします。

つきましては、感染予防に役立つ商材を、次号にてまとめてご紹介させていただく予定です。また、次号を待たずに早急に商品情報を必要とされる場合は、当協会に直接お問い合わせください。提供させていただける範囲で、情報をお伝えさせていただきます。

■会員情報漏洩賠償責任保険お知らせ

平成25年度募集の事前告知



FIAでは、クラブ会員の個人情報漏えい事故に備える仕組みとして「情報漏えい賠償責任保険制度」を用意しています。この制度は、賠償に大きな費用がかかったとしても、誠意をもって

きちんと対応ができるよう正会員さま向けに独自に制度設計をしたものです。情報漏えい事故は、毎日のように起きています。

昨今、第三者のサーバーへの予期せぬ悪意ある侵入により、知らぬ間に大切な個人情報などが漏れてしまう事故も発生しており、気を付けていても防ぎきれない状態になっています。ひとたび事故が発生すると、対外的信頼の失墜や損害賠償など、企業にとって大きな損失と負担が発生することは、いうまでもありません。

そうした不測のリスク回避のための「転ばぬ先の杖」として、この「情報漏えい賠償責任保険制度」をご活用されることをお勧めします。万が一の場合にも、あわてることなく迅速に対応できます。つきましては、制度の詳細について、正会員代表者ご担当者さま宛てに、12月中旬にパンフレットを郵送させていただきます。この制度にまだご参加いただいていない会員企業さまにおかれましては、これを機に、次年度に向けての予算策定と併せて、ぜひご検討いただきければと思います。お見積りはお気軽に、下記までご連絡ください(募集は毎年4月となります)。

<お問い合わせ先>

アフィニティコンタクトセンター

FIA会員 情報漏えい保険係

0120-257-522(携帯電話からは093-512-8550)

受付時間: 祝祭日を除く月～金 9:00～17:00

■日本エステティック機構からのお知らせ

～「エステティックサロン認証」のご紹介～



エステティックサロン認証制度をご存知ですか? 2007年に経産省から発表された報告書「エステティックサロン認証制度の在り方」に基づいて、第三者機関である日本エステティック機構が実施しているエステティックサロンの認証制度のことです。

エステティックサロンはお客さまに直接接触してサービスを行うところであり、5万円を超えて1ヶ月を超えるサービス契約を行う場合は「特定商取引に関する法律」(特商法)の適用を受けます。また、エステティックサービスはたいへん人気が高いサービスである反面、残念ながら消費者クレームも多いと

いわれているサービスでもあります。

当機構は消費者利益を保護し、エステティック業の健全な発展を目的に、認証を希望する事業者に対して認証基準に従ってサロンや事業者への審査を実施しております。

認証審査では、エステティシヤンの教育から衛生管理、消費者対応、営業方法、契約方法など48項目(特商法の適用にならないサロンは27~30項目)にわたって書類および現地審査を行い、有識者による認証判定委員会を経て認証可否を決定し、合格サロンには上記の認証マークの使用をさせていただきます。

昨今、フィットネスにもエステティックサロンを併設するケースが増えておりますが、多くの事業者様が独自の基準でエステティック施設の設置・運営を行っておられると思います。しかしながら、特にコンプライアンス体制に関してはなかなかトータルで管理することが難しいとの声を聞いております。まずはこのサロン認証基準により設置・運営を行うことにより、教育・衛生、消費者対応、コンプライアンスなどにおいて定型書式にて管理ができます。また審査時にはサロンの状況に応じた適切なアドバイスも行っております。

当機構のホームページには認証基準や管理のための定型書式なども公開しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

なお、来年2月20日(水)に経産省の担当官をお呼びしてサロン認証説明会も開催する予定となっておりますので、ご興味がある事業者さまはぜひともご参加ください。詳細は以下ホームページをご参照ください。

認定 特定非営利活動法人 日本エステティック機構
〒102-0092千代田区平河町1-6-15 USビル5F
公式HP <http://esthe-npo.org/>
Tel:03-3230-8002 Fax:03-3230-8003
e-mail:pr@esthe-npo.org

Member's Board

会員掲示板

◆株式会社アクアエンタープライズ(賛助会員)◆

~今あるサウナを香りでリニューアルしてみませんか?~
室内の空気をリフレッシュ! 気になる匂いの軽減も



●フィンランドサウナの醍醐味「リョーリユー」

フィンランドでは、サウナ内にある熱い石に水をかけ蒸気を発生させる習慣があります。この蒸気は呼吸を楽にするとともに心地よい熱の波を生みだし、健康によい皮膚刺激を与えてくれるのです。この温度と湿度の心地よいリョーリユーに「サウナコロ」をプラスすれば、快適さとアロマの癒しを同時に体感することができます。また、サウナ室内の汚れた空気をリフレッシュし、気になる匂いを軽減できます。

香りはミント、ひのき、レモンの3種類からお選びいただけます。

【スチームサウナ用アロマ アクアミストヴェール】



●アクアミストヴェール

西洋ハーブと琉球ハーブをブレンドした「インハレーションハーブ」&「インハレーションオイル」のコラボレーション。アクアミストヴェールの香りが広がると、まるで森林浴をしているかのようにリラックスできます。蒸気のまろやかな水分がハーブの香りとともにお肌に纏い、お肌を乾燥から守り、潤いを与えてくれます。室内の浄化にもなり、衛生面への相乗効果も期待できます。

※インハレーションハーブ・・・ローズマリーや月桃・ヨモギなどのブレンドハーブ。

※インハレーションオイル・・・ユーカリやティーツリーなどをブレンドしたエッセンシャルオイル。

<お問い合わせ先>

発売元:株式会社アクアエンタープライズ
所在地:東京都港区新橋5-10-7山下ビル3F
TEL. 03-3433-4177 FAX. 03-3433-4188
HP: <http://www.aquaenterprise.co.jp>

Member's Board

会員掲示板

◆株式会社モマインターナショナル◆

お客さまにダイビングの楽しさを提案してみませんか？
フィットネスクラブ内
ダイビング事業委託サービスのご案内



ダイビングは、日常生活に海と自然と自分自身が一体となるという素敵なライフスタイルを提供します。フィットネスクラブ付帯のプールは、ダイビングの第一歩を気軽に踏み出していただく場として、最高の場となります。近年では、シルバー層の方々が急激に増えてきています。フィットネスクラブにおいても増加している元気な高齢者への新たな付加価値の提案アイテムとして、必ずマッチするでしょう。

弊社では、現在関東一円において50店以上のフィットネスクラブさまのスキューバダイビング業務の委託を受け、ダイビング活動を行わせていただいています。会員さまのクラブへの帰属意識を高め、継続率向上にもつながるサービス提供のお手伝いを当社にさせていただければ幸いです。



【導入メリット】

- 新たな設備投資や貴施設サイドの人的投資は一切ありません。
- 万が一のアクシデントへのリスク管理は、弊社にてすべて請け負います。(参加されるお客さまへの賠償責任保険、傷害保険は弊社にて完璧に加入しておりますので安心です。)
- プールでの体験会やライセンス取得コースなどご要望に合わせた形でアレンジも可能です。

<お問い合わせ先>

株式会社モマインターナショナル 大貫宛
所在地: 東京都三鷹市井口3-6-16
TEL. 0422-34-0602 FAX. 0422-34-0609
E-mail: nuki@moma.co.jp

New Clubs

出店情報

12月のオープンクラブ

セントラルウェルネスクラブ葛西

所在地: 東京都江戸川区中葛西3-33-12
TEL:03-5667-1070

●FIA会員

ホリデイスーツクラブ東京小平

所在地: 小平市花小金井6丁目2番2号
TEL:042-451-6400

ジョイフィットヨークタウン雨ヶ谷

所在地: 栃木県小山市雨ヶ谷897
「ヨークタウン小山雨ヶ谷」内
TEL:0285-39-6070

アップフォーヨガ青山

所在地: 東京都港区南青山5-6-23 スパイラル6F
TEL:03-3708-4040

Curves大田パル

所在地: 島根県大田市大田町大田イ411番地
TEL:0854-84-5030

Curves熊本山鹿

所在地: 熊本県山鹿市鹿校通2丁目2-11
TEL:0968-32-1201

Curves海老名本郷

所在地: 神奈川県海老名市本郷1689-1
TEL:046-237-2074

Curves久我山井の頭通り

所在地: 東京都杉並区宮前5の15の21
日通久我山ビル
TEL:03-5941-5065

Curvesサンポートかしま

所在地: 茨城県鹿嶋市鉢形1526-3
サンポートかしま 2F
TEL:0299-95-9591

Curves春日部豊春

所在地: 埼玉県春日部市上蛭田631-2
TEL:048-763-6100

Curvesみやぎ生協塩釜杉の入

所在地: 宮城県塩釜市杉の入3-3-1
TEL:022-361-7090

Curves北山紫野

所在地: 京都府京都市北区紫竹東栗栖町35-2
TEL:075-495-6202

Curvesアピタ敦賀

所在地: 福井県敦賀市中央町1丁目5-5
TEL:0770-21-0233

Curvesアルプラザ京田辺

所在地: 京都府京田辺市田辺中央5-2-1
TEL:0774-63-3415

Curves駒川

所在地: 大阪府大阪市東住吉区駒川4丁目1-8
松岡ビル3F
TEL:06-6654-7512

Curvesイオンタウン荒尾

所在地: 熊本県荒尾市原万田字八反田630-1
TEL:0968-64-2188

Curves都島北通

所在地: 大阪府大阪市都島区都島北通1-13-9
SK都島北通3F
TEL:06-6921-7871

Curves南品川

所在地: 東京都品川区南品川1-2-6
TEL:03-6712-0089

Curves碧南

所在地: 愛知県碧南市末広町3丁目30番地
TEL:0566-42-6111

ゲオディノス、ホットヨガ施設、札幌に来年開設。

ゲオディノスは2013年1月、札幌市内の複合ビルに女性専門のホットヨガスタジオを開設する。面積は約500平方メートル。マッサージや肌のシワ取りなどのサービスも提供する。札幌市内で6店目。健康意識の高い若い女性の集客を目指す。

ホットヨガを含むフィットネス事業に力を入れており、全売上高の3割程度を占める。同社が8日発表した2012年4～9月期単独決算は売上高が前年同期比1%減の40億円だった。一部の店舗出店を中止し、改装も延期した。ゲーム店運営などが厳しく、最終損益は6,900万円の赤字(前年同期は2,800万円の赤字)。

(2012.11.9 日本経済)

進学会、フィットネス事業開始

進学会は、小型フィットネス施設の運営に乗り出す。まず2013年2月に札幌市内に出し、5年で100店舗を目指す。中核の学習塾事業では、授業メニューの拡充や個別指導部門の強化検討。増収増益。資本業務提携していた栄光ホールディングスとの関係次第では、関東圏の事業拡大に懸念も。

(2012.11.19 日本経済)

シダックス、旧電力館にスポーツクラブ

給食大手のシダックスは東京電力が昨年5月に閉鎖した最大のPR施設「電力館」(東京・渋谷)で新事業を始める。2013年4月からスポーツクラブやカルチャー教室を手掛ける施設として利用する。電力館は渋谷の有名スポットで、東電は再建策の一環として借受先を探していた。

電力館は8階建てで渋谷駅(東京・渋谷)近くの一等地にある。賃借料は年2億～3億円とみられる。シダックスが東電と15年間のテナント契約を結び、「シダックス・カルチャー・ビレッジ」という名称のサービス施設を運営する。

(2012.11.21 日本経済)

河原でのびのびフィットネス

小田急電鉄は東京都狛江市で多摩川の河川敷を生かした珍しいフィットネスクラブを運営している。室内で実施することが一般的なフィットネスのプログラムを、芝生や遊歩道で楽しめるのが特徴だ。8月の開業から約3ヶ月半で会員数は約400人と、計画の2倍に増えた。屋外ならではの開放感が、主婦やシニア層らに好評という。

(2012.11.23 日本経済)

Issue**記事****レッスン教室用スタジオを開業、住友不動産系、都内に**

会員制フィットネスクラブ「エスフォルタ」を運営する住友不動産エスフォルタ(東京・新宿)は11月1日、ヨガやダンスなどのレッスン教室を催すスタジオ「ベイリズム品川」(東京・港)を開業する。フィットネスクラブ内の設備の1つであるスタジオ機能を単独業態として出店する。

ベイリズム品川はJR品川駅から徒歩10分ほどの、住友不動産が過去に分譲したマンションの低層商業区画に入居する。

(2012.111 日経産業)